

2026年1月22日所長会見 所感

- すでにお知らせの通り、当発電所6号機は、昨日午後7時2分に原子炉を起動しましたが、本日、午前0時28分に制御棒の引抜操作を行っていたところ、制御棒1本の電動機制御盤に警報が発生し、引抜操作を中断しました。
- なお、本事案については、先日の制御棒インターロック試験の不具合とは異なるものになります。
- 今回発生した電動機制御盤の同様の警報が、1月14日に行った定例試験において、今回と異なる制御棒で発生しております。
- その際、制御盤の電気部品で不具合が検出されたため、予備品との取り替えを行い、問題が確認されなかつたことから、電気部品の単体不良と判断しております。
- 今回は、1月14日に発生したものと異なる位置の制御棒の盤で同様の不具合を確認したものです。当該制御盤の電気部品の交換を実施しましたが、状況が改善されませんでした。
- これを受けて、発電所長として、プラントを一旦停止し、原因について徹底的に調査を行っていく必要があると判断いたしました。
- 調査結果と、それを踏まえた対応については、判明次第あらためてお知らせいたします。
- なお、制御棒の水圧による緊急停止機能は現在も維持されています。
- 引き続き、不具合等が発生した場合、関係者が集まって議論を行い、安全最優先で一つひとつ慎重に対応してまいります。